

えひめ 私のカルテ



胃がん

手術後フォローアップ

お名前：_____

発行病院： 松山赤十字病院

発行年月日： 20 年 月 日

はじめに

「連携パス」とは、手術等を行った施設の医師と地域のかかりつけ医、保険薬局、訪問看護ステーション等があなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。

「連携パス」を活用し、病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が担当し、専門的な治療や定期的な検査は拠点病院が担当することによって、患者さんは、

- 最良の医療が継続して受けられます。
- ゆとりのある診察が受けられます。
- 病院・診療所での待ち時間が短くなります。
- 重複した検査・投薬が避けられます。
- 遠い人は通院の費用も軽減されます。



「連携パス」について心配やご不安がある場合は、遠慮なくお尋ねください。

も く じ

はじめに／もくじ	1
患者基礎情報	3
連携医療機関の一覧	5
退院にあたって	7
退院後の日常生活	8
胃手術後の後遺症	9
退院後もこれだけは忘れずに！	17
胃がん連携パス	19
患者さん用メモ	25
医療者用連絡メモ	27
がん相談支援センターのご案内	31



患者基礎情報

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名			
生年月日	明・大・昭・平	年	月 日
住所			
電話	自宅・携帯	-	-
緊急連絡先			
(電話 - -)			
血液型	型	身長	cm 体重 kg
アレルギー歴			
あり ・ なし			

薬の副作用

薬の名前	症状	いつ頃

今までにかかった病気

アレルギー性疾患

心臓の病気

腎臓の病気

肝臓の病気

消化器の病気

その他

その他

連携医療機関の一覧

がん診療連携拠点病院名（記載日： 年 月 日）

松 山 赤 十 字 病 院

外 科

担 当 医：

電話： 089 - 924 - 1111（代 表）

かかりつけ医（初回受診日： 年 月 日）

電話： — —

調剤薬局

電話： — —

居宅介護支援センター、訪問看護ステーション、支援事業所など

ケアマネ：

担当者：

電話： — —

メモ

退院後の日常生活

からだの調子に自信がついたら、仕事に復帰。外出も旅行も、何でもできます。ただ、疲れすぎないようにしましょう。

●胃手術後の日常生活で気をつけていただきたいこと

胃手術後の後遺症について、以下のような種類があります。

- ①腸閉塞（ちょうへいそく）
- ②ダンピング症候群
- ③貧血
- ④骨粗鬆症（こつそしょうしょう）
- ⑤逆流性食道炎
- ⑥胃手術後胆石症
- ⑦小胃症状

それぞれについて説明いたします。

胃手術後の後遺症①

腸閉塞

手術したあとは、ほとんどの場合、お腹の中で腸があちこちにくっつきます（癒着-ゆちゃく）。その結果、腸が曲がったりせまくなることによって腸閉塞が起こることがあります。せまくなったところに食べ物がつまると、便もガスも出なくなります。ときには腸がねじれて、腸の流れが閉ざされてしまうこともあります。

〔 症状 〕

一般的に悪心、嘔吐、排便・排ガスの停止、腹痛がみられます。時には、腸がねじれて血流が途絶え、時間とともに腸が壊死（腸管の細胞が死滅してしまうこと）して、腸に穴が開いたりして大変危険な状態になることがあります。吐き気や嘔吐に加えて痛みが強い場合には、必ず医師の診察を受けて下さい。

〔 治療法 〕

多くの場合には、絶食していると自然に治るのですが、ときには癒着をはがしたり、ねじれを治す手術が必要なことがあります。

胃手術後の後遺症②

ダンピング症候群

胃を切除すると、いままで胃の中で混ぜあわされて少しずつ腸に移動していた食物が、一度に急に腸へ流れ込む状態になります。そのために起きる不愉快な症状がダンピング症候群といわれるものです。食後 30 分以内に起こる場合（早期ダンピング症候群）が多いのですが、食後 2～3 時間で起こる場合（後期ダンピング症候群）もあります。

〔 症状 〕

早期ダンピング症候群：食後 30 分以内に発汗、めまい、脈拍が上がるなどの全身症状と悪心、腹部膨満感、下痢などの消化器症状が出現します。

後期ダンピング症候群：食後 2～3 時間に頭痛、汗が出る、脈拍が増える、めまい、脱力感を覚え、ときには気を失ってしまうこともあります。

〔 治療法 〕

早期ダンピング症候群：安静により多くは数分～数十分で改善します。しかし、顕著な場合はお薬を使うこともあります。

後期ダンピング症候群：糖質の補給が必要になります。ブドウ糖の静注や、お菓子やあめ玉、氷砂糖をとったり、甘い飲み物を飲んで下さい。ただし、飲み物の場合には、たくさんの量を一気に補給するとかえって良くない場合がありますのでゆっくりと飲みましょう。予防するには、食後2時間あたりに何か間食をとることが有効です。

胃手術後の後遺症③

貧血

胃の切除により、鉄分やビタミン B12 が吸収されにくくなるために貧血が起こります。前者は、鉄欠乏性貧血、後者は巨赤芽球性貧血（きよせきがきゅうせいひんけつ）といえます。

鉄欠乏性貧血：手術後数ヶ月から出現することがあります。治療は、鉄剤の補充を行います。

巨赤芽球性貧血：ビタミン B12 は体内に蓄積されており、数年間はその蓄積したビタミン B12 でまかなうことができます。しかし手術後 4～5 年以降には蓄積がなくなり、巨赤芽球性貧血が発症することが多いです。治療法は、ビタミン B12 の補充です。定期的に血液検査をして、不足していれば補給する必要があります。

胃手術後の後遺症④

骨粗鬆症

胃の手術をすると、カルシウムの吸収が悪くなるため骨のカルシウムが減少して骨が弱くなります。ときに、骨折したりします。必要であればカルシウムや、ビタミンDの投与することがあります。普段からカルシウムの補給には十分気を付けましょう。

胃手術後の後遺症⑤

逆流性食道炎

食道内へ胃の内容物や、消化液が逆流することによっておこる食道の炎症です。胃カメラで見ると、多くの場合食道がただれています。これは手術によって胃の入口（噴門）の逆流防止の機能が損なわれたために起こる場合と、主に加齢により噴門の機能が低下しておこる場合があります。

〔 症状 〕

苦い水（腸液）や酸っぱい水（胃液）が口のほうへ上がってきたり、胸やけなどの症状が見られることがあります。

〔 治療法 〕

上半身を 20 度くらい高くして寝ることにより多くは防ぐことができますが、病状に応じて粘膜保護剤、制酸剤、酵素阻害薬（有害な酵素作用を止める）などのお薬が投与されることがあります。

胃手術後の後遺症⑥

胃手術後胆石症

胃の手術の時には、しばしば胆嚢（たんのう）の神経が切れてしまいます。そのために胆嚢の動きが悪くなり、あとで胆嚢に炎症を起こしたり、胆嚢内に結石ができることがあります。ほとんどの場合、放置しておいて差し支えありませんが、痛みなどの症状が出ると切除することがあります。

●胆嚢とは・・・

胆嚢は肝臓でできる胆汁という黄色い液をためたり濃縮したりする、なすびのような形をした臓器です。胆嚢は十二指腸につながっており、脂肪を含んだ食物が十二指腸に流れてきた時には、ためていた胆汁を十二指腸に放出することによって、消化・吸収を助けることになります。

胃手術後の後遺症⑦

小胃症状

胃を切除したために、胃が小さくなることによっておこってくるすべての症状を小胃症状といいます。胃全摘の場合は、無胃症状と言います。

〔 症状 〕

食事が少ししか入らない、あるいは、すぐにお腹が一杯になるといった症状は最も一般的な症状です。手術を受けられたほとんどの方が経験される症状です。

〔 治療法 〕

お腹を順応させてやることが大切になります。そのためには、食事のとり方が大切です。入院中や術後のどの時期でも、栄養士の話聞くことができます。

退院後もこれだけは忘れずに！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後 5 年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は胃がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。住民検診，職場検診を受けましょう。

☆ 毎月 1 回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月 1 回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、主治医、あるいはかかりつけ医に相談してください。

☆ 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。また、薬局で購入した市販薬（胃薬等）、いわゆる健康食品につ

いても医師、薬剤師にご相談ください。よかれと思ってとっている健康食品で、思わぬ副作用が出る場合があります。

☆ 悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ、不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。

愛媛がん患者・家族の会「おれんじの会」や四国がんセンターでは「まろん会」という名で胃がん手術後の患者さんたちの勉強・懇親の場を設けています。

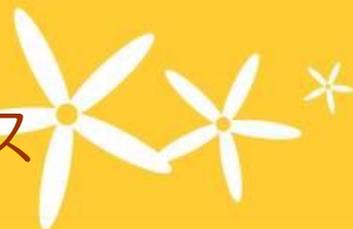
●おれんじの会 (<http://haisai.jp/orange/>)

●まろんの会

(<http://www.shikoku-cc.go.jp/local/seminar/marron.html>)

多くの方が病気を克服し、充実した人生を送っていることを心にとめておきましょう。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく希望を持って、病気をしてかえって良かったと思うような、前向きな生活を送ってください。

胃がん手術後連携パス



■手術日 年 月 日

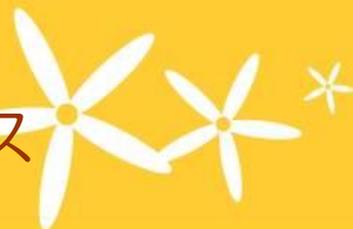
診療場所		がん診療連携 拠点病院	かかりつけ医	がん診療連携 拠点病院	
経過		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	
月 日		/	/	/	
問 診		○	○	○	
視 触 診		○	○	○	
血液検査	末梢血一般	○	○	○	
	生化学	○	○	○	
	腫瘍マーカー	○	○	○	
画像検査	エコー		(○)		
	CT			(○)	
	胃カメラ				
自覚症状	腹部の チェック	体 重	Kg	Kg	Kg
		腹 痛			
		腹部膨満			
		胸 や け			
		下 痢			
	それ以外の チェック	吐き気・嘔吐			
		全身倦怠感			
		めまい・冷や汗			
	その他				



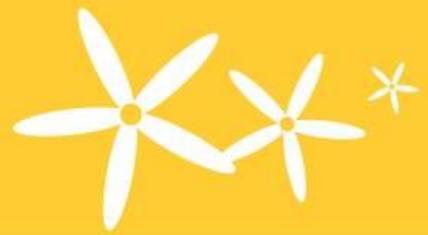
※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

かかりつけ医	がん診療連携 拠点病院	かかりつけ医	がん診療連携 拠点病院	かかりつけ医
9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月
/	/	/	/	/
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
(○)		(○)		(○)
	○		(○)	
	○			
Kg	Kg	Kg	Kg	Kg

胃がん手術後連携パス



診療場所		がん診療連携 拠点病院	かかりつけ医	がん診療連携 拠点病院	
経過		2年	2年3ヶ月	2年6ヶ月	
月 日		/	/	/	
問 診		○	○	○	
視 触 診		○	○	○	
血液検査	末梢血一般	○	○	○	
	生化学	○	○	○	
	腫瘍マーカー	○	○	○	
画像検査	エコー		(○)		
	CT	○		(○)	
	胃カメラ	○			
自覚症状	腹部の チェック	体 重	Kg	Kg	Kg
		腹 痛			
		腹部膨満			
		胸 や け			
		下 痢			
	それ以外の チェック	吐き気・嘔吐			
		全身倦怠感			
		めまい・冷や汗			
	その他				



※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

かかりつけ医	がん診療連携 拠点病院	かかりつけ医	がん診療連携 拠点病院	かかりつけ医
2年9ヶ月	3年	3年6ヶ月	4年	4年6ヶ月
/	/	/	/	/
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
(○)		(○)		(○)
	○		○	
	○		○	
Kg	Kg	Kg	Kg	Kg

胃がん手術後連携パス



診療場所		がん診療連携拠点病院	
経過		5年	
月日		/	
問診		○	
視触診		○	
血液検査	末梢血一般	○	
	生化学	○	
	腫瘍マーカー	○	
画像検査	エコー		
	CT	○	
	胃カメラ	○	
自覚症状	腹部のチェック	体重	Kg
		腹痛	
		腹部膨満	
		胸やけ	
		下痢	
	それ以外のチェック	吐き気・嘔吐	
		全身倦怠感	
		めまい・冷や汗	
	その他		

メモ

- 5年目以降のかかりつけ医受診は必要時（3～6ヶ月ごと）
- 定期受診は5年目までですが、以後は施設により異なります。
- 定期受診日以外でも必要があれば受診

メモ

患者さん用メモ

年 月 日	気になることがあれば自由にご記載ください。

患者さん用メモ

年 月 日	気になることがあれば自由にご記載ください。

医療者用連絡メモ

年 月 日	連絡事項等あればご記載ください。	サイン

医療者用連絡メモ

年 月 日	連絡事項等あればご記載ください。	サイン

メモ

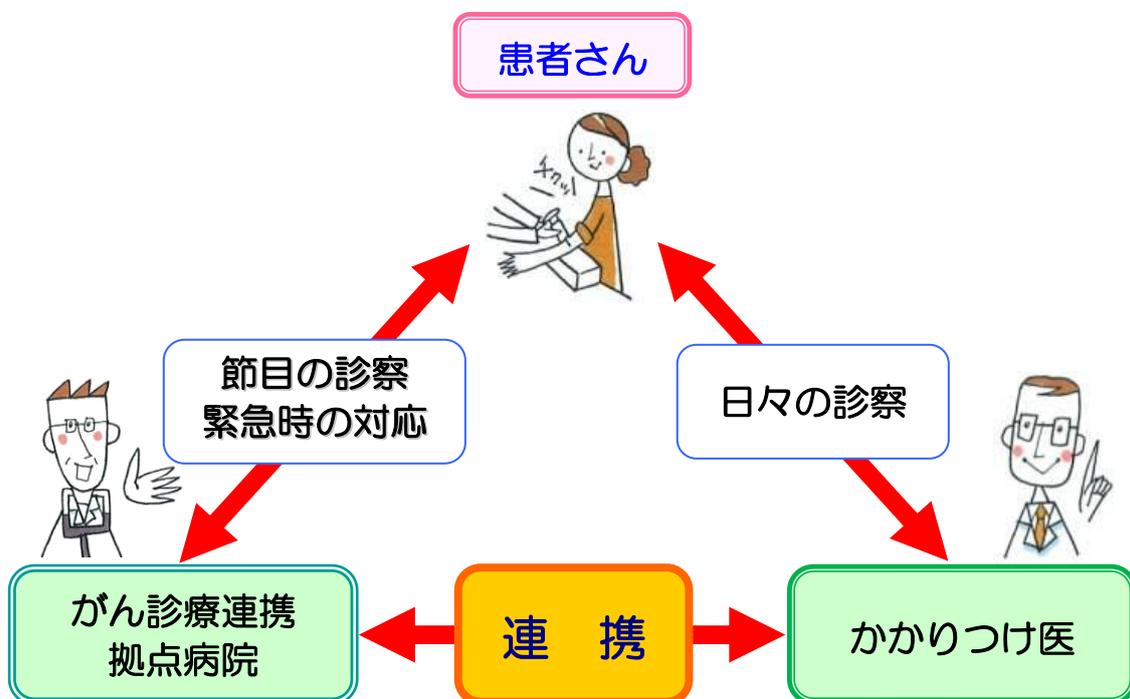
メモ

がん相談支援センターのご案内

がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」では、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーががんに関するあらゆる相談に応じています。

- がんの痛みや不安について
- がん治療の費用について
- 家族の方の不安について
- 一般の方のがんに関するご質問・・・など。

退院後の生活に必要なサポートについても、主治医、病棟の看護師、地域の医療・福祉関係者と考えていくとともに、かかりつけ医とがん診療連携拠点病院とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割も果たしています。



ご心配な点があれば、まずはかかりつけ医にご相談ください。

かかりつけ医に連絡がつかない場合は、以下にご連絡下さい。

● がん診療連携拠点病院： **松山赤十字病院**

● 窓口名：がん相談支援センター

● 平 日 8：30 ～ 17：10

がん相談支援センター

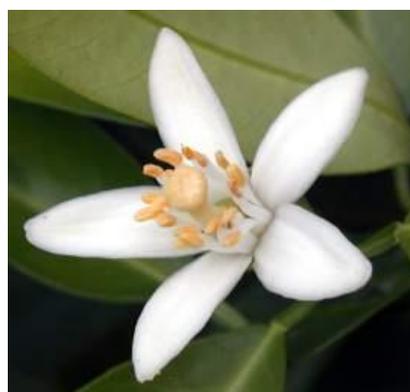
(直 通) 089-926-9630

● 平日時間外及び土、日、祝祭日（緊急時）

日直／夜間当直（※看護師）

(代 表) 089-924-1111

がん治療連携計画策定料、指導料
算定 なし あり



みかんの花



かかりつけ医

病院名： _____

担当医： _____ 先生

電 話： _____

※拾った方は上記にお届け下さい。



